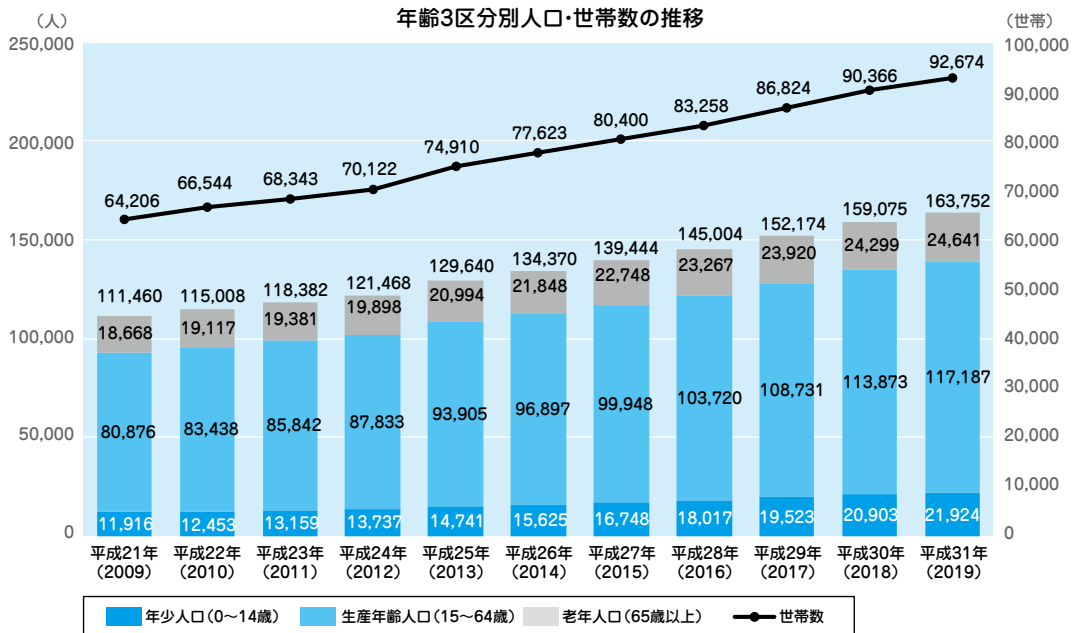


1 子ども・子育てを取り巻く状況

(1) 人口・世帯数の推移

本区の人口・世帯数は増加傾向にあり、総人口は平成21(2009)年からの10年間で46.9%増加し、平成31(2019)年4月1日現在で163,752人、世帯数92,674世帯となっています。

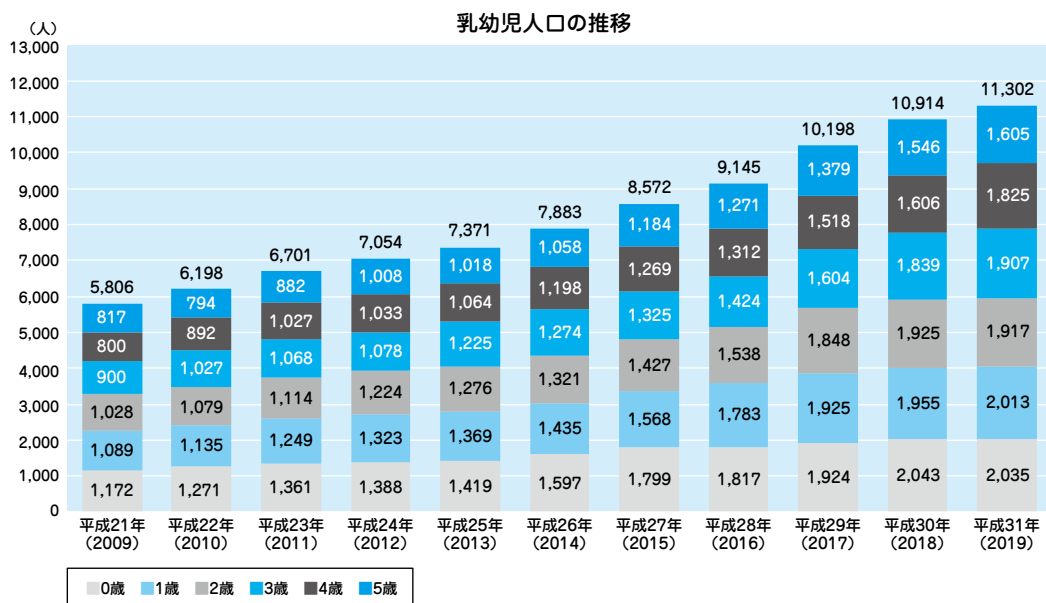
年齢3区分別の人口動向は、生産年齢人口や高齢人口の増加率に比べ、年少人口の増加が著しく、この10年間で84.0%増加しており、平成21(2009)年の11,916人から21,924人となっています。



※中央区「住民基本台帳」各年4月1日現在

(2) 乳幼児人口の推移

平成21(2009)年からの0~5歳の乳幼児人口の推移をみると、平成31(2019)年は11,302人となり、10年前の5,806人と比べ約2倍に増えています。

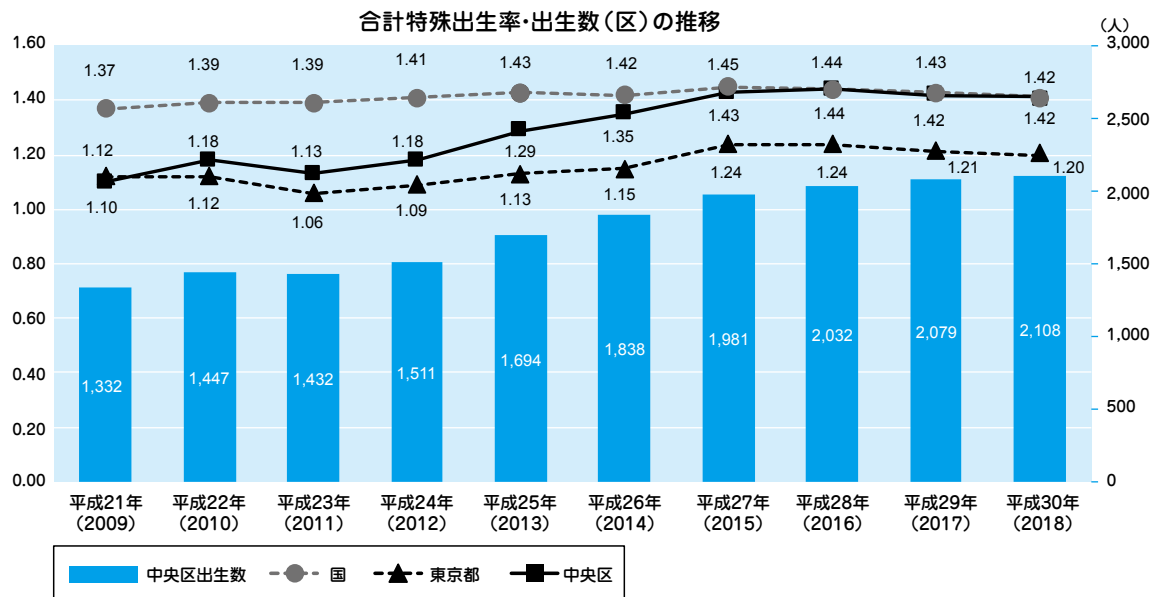


※中央区「住民基本台帳」各年4月1日現在

(3) 出生の動向

中央区の合計特殊出生率は、東京都平均と比較すると平成22(2010)年以降は一貫して高く、平成29(2017)年は区部で最も高い1.42となっています。

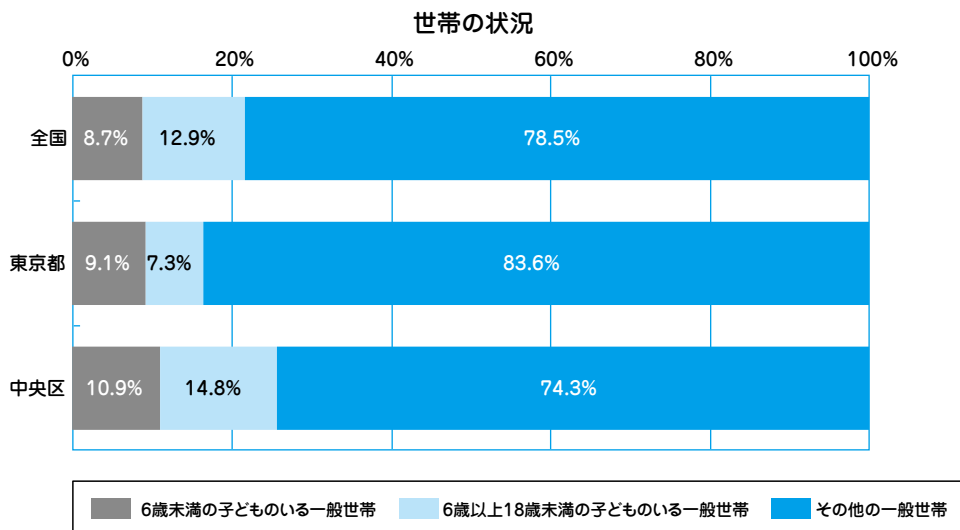
年間あたりの出生数は、平成28(2017)年に2,000人を超え、その後も増加が続き、平成30(2018)年で2,108人となっています。



※出生数は中央区資料
 ※合計特殊出生率は、厚生労働省「人口動態統計(確定数)の概況」および東京都「人口動態統計年報(確定数)」による

(4) 子どものいる世帯の状況

世帯の状況を見ると、6歳未満の子どもがいる一般世帯は10.9%、6歳以上18歳未満の子どもがいる一般世帯は14.8%で、いずれも全国水準・東京都水準を上回っており、本区は子どもがいる世帯の割合が多いことがわかります。

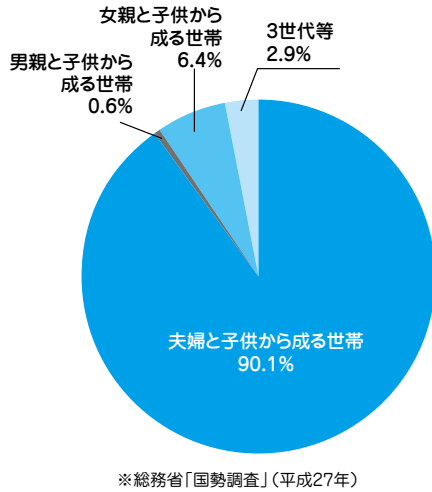


※総務省「国勢調査」(平成27年)



6歳未満の子ども(8,789人)のいる世帯は7,202世帯であり、97.1%が核家族となっています。

6歳未満の暮らす世帯構造

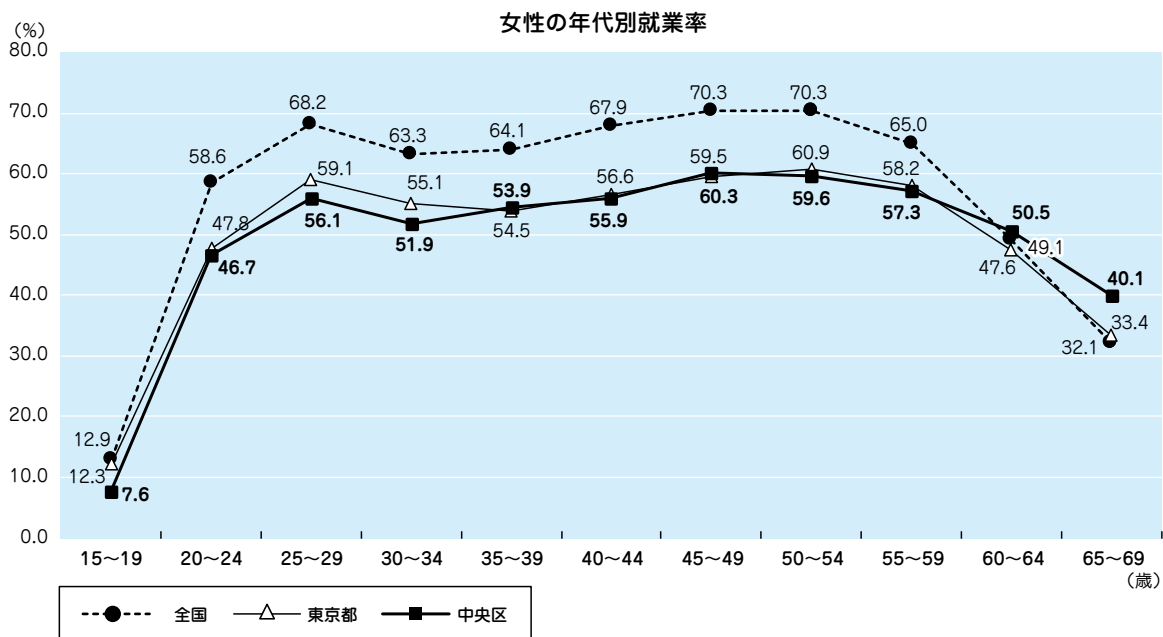


	世帯数 (世帯)	世帯人数 (人)	6歳未満 人員 (人)
一般世帯	79,256	140,501	8,789
6歳未満の子どものいる世帯	7,202	24,828	8,789
核家族	6,990	23,850	8,533
夫婦と子供から成る世帯	6,487	22,641	7,956
男親と子供から成る世帯	42	102	47
女親と子供から成る世帯	461	1,107	530
3世代等	212	978	256

※総務省「国勢調査」(平成27年)

(5) 女性の就業状況

女性の就業状況について年代別就業率をみると、一旦就職するものの結婚等に伴い一時的に離職するため20代・30代の就業率が下がる、いわゆるM字曲線をなだらかに描いていることがわかります。



2 ニーズ調査結果から見た子どもを取り巻く状況

子育ての不安感、負担感、孤立感

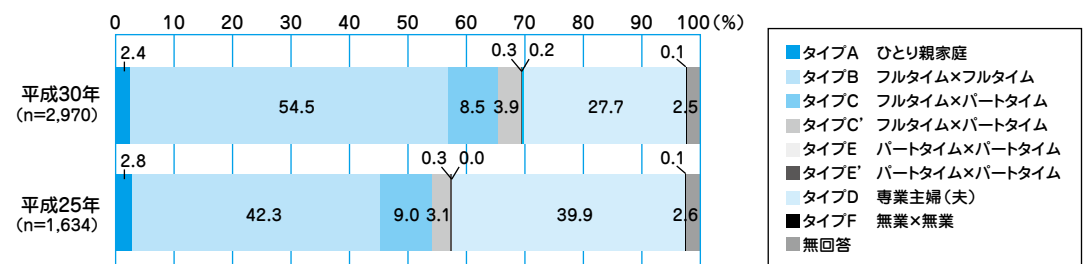
5年前に比べ共働き家庭が増えている

▶保護者の就労状況から分類した家庭類型について(単回答)

現在の家庭類型は、共働き家庭(タイプB、C、C'、E、E')が平成25年調査に比べ、54.7%から67.4%へと12.7ポイント増加しています。

特に、「タイプB(フルタイム×フルタイム)」は5年間で42.3%から54.5%へと12.2ポイント増加しており、「タイプD(専業主婦(夫))」は39.9%から27.7%へと12.2ポイント減少しています。

●就学前児童調査

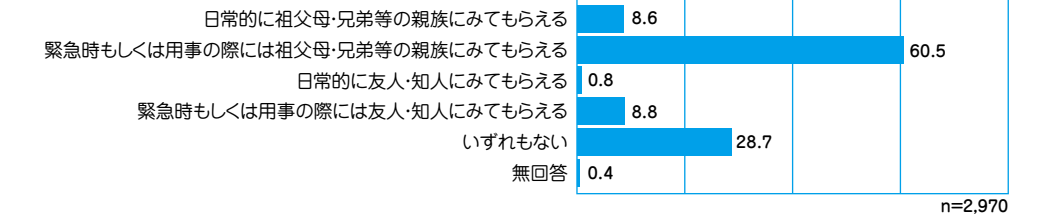


子どもを保護者に代わってみてる親族・知人がいない方が約3割

▶子どもを保護者に代わってみてる親族・知人の有無(複数回答)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母・兄弟等の親族にみてもらえる」が60.5%で最も高く、次いで「いずれもない」が28.7%、「緊急時もしくは用事の際には友人・知人にみてもらえる」が8.8%の順となっています。

●就学前児童調査

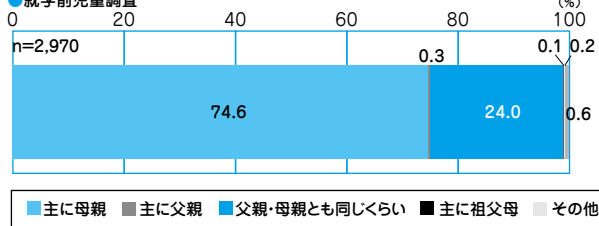


母親に子育ての負担がかかっている

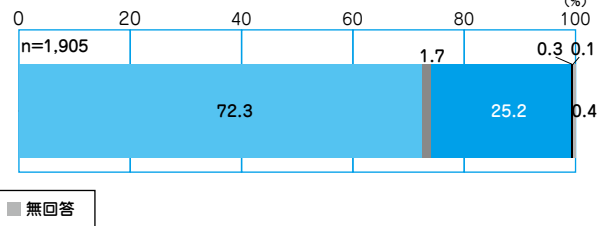
▶子育てを主に行っている人(単回答)

子育てを主に行っている人は就学前児童調査、小学校児童調査共に「主に母親」が7割以上で最も高く、次いで「父親・母親とも同じくらい」となっています。

●就学前児童調査



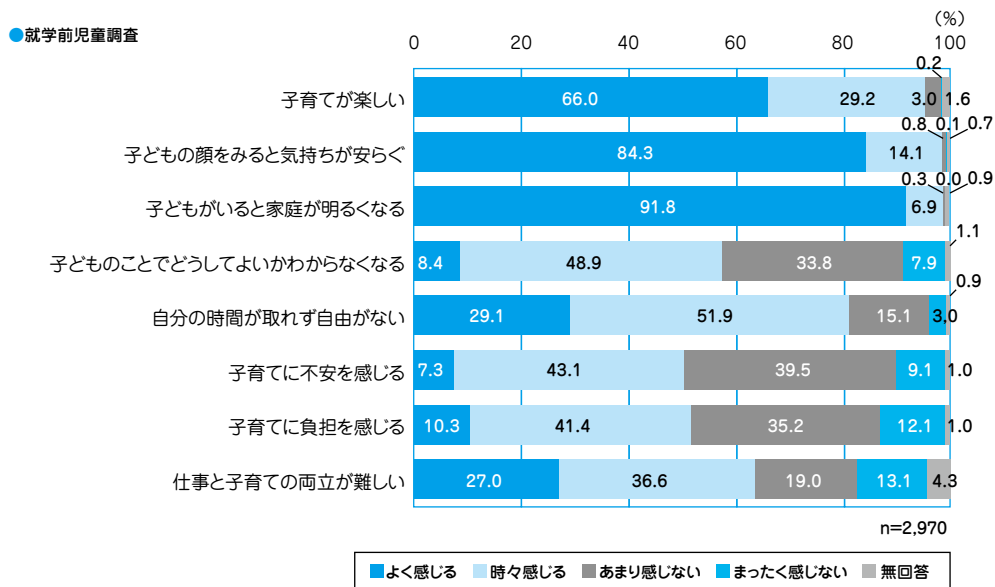
●小学校児童調査



ほとんどの方は子どもがいると家庭が明るくなると感じる一方で、自分の時間が取れず自由がないと感じている方も多い

▶子育ての感想(単回答)

「よく感じる」と「時々感じる」を合わせた割合は、「子どもがいると家庭が明るくなる」が98.7%、「子どもの顔をみると気持ちが安らぐ」が98.4%、「子育てが楽しい」が95.2%となっており、「自分の時間が取れず自由がない」が81.0%となっています。



学童クラブ 遊びの時間

仕事と子育ての両立

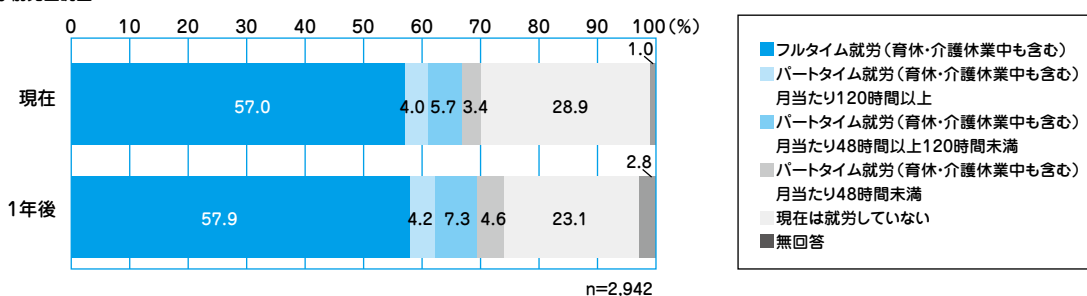
母親の就労意向は、今後ますます高くなる

▶母親の現在の就労状況と今後の就労予定（単回答）

現在は、「フルタイム就労（育休・介護休暇中も含む）」が57.0%、1年後は、「フルタイム就労（育休・介護休暇中も含む）」が57.9%で最も高くなっています。

就業率は、現在の70.1%に比べ、1年後の就業率は74.0%で3.9ポイント増加しています。

●就学前児童調査

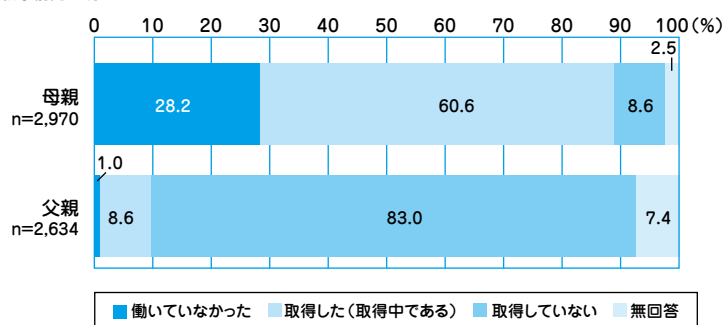


父親の育児休業の取得は、進んでいない

▶両親の育児休業の取得状況（単回答、数量回答）

「取得した（取得中である）」は、「母親」は60.6%、「父親」は8.6%となっています。

●就学前児童調査



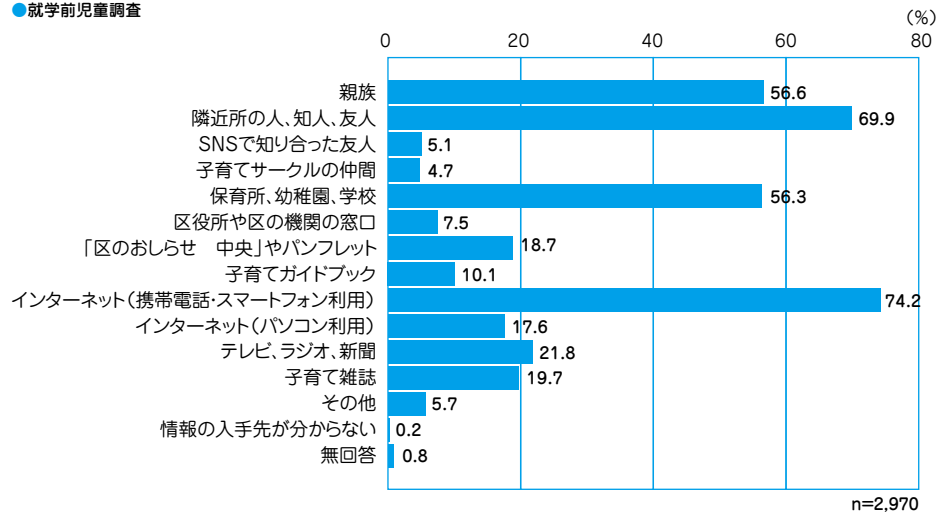
情報収集方法

子育てに関する情報の入手は「インターネット」が7割以上、「隣近所の人、知人、友人」が約7割と多い。一方で「区のおしらせ 中央」やパンフレットといった紙媒体は2割弱と少ない。

▶子育てに関する情報の入手先（複数回答）

「インターネット（携帯電話・スマートフォン利用）」が74.2%で最も高く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が69.9%となっています。一方で「区のおしらせ 中央」やパンフレットは18.7%となっています。

●就学前児童調査



あかちゃん天国での育児相談

3 子ども・子育て支援策の現状

(1) 教育・保育施設の現状

① 主な施設一覧

令和元年 10月1日現在

施設区分	京橋地域	日本橋地域	月島地域
認可保育所等 61園	13園	22園	26園
区立認可保育所 14園	<ul style="list-style-type: none"> ●桜川保育園 ●明石町保育園 ●築地保育園 ●八丁堀保育園 4園	<ul style="list-style-type: none"> ●十思保育園 ●堀留町保育園 ●人形町保育園 ●日本橋保育園 ●浜町保育園 5園	<ul style="list-style-type: none"> ●つくだ保育園 ●月島保育園 ●勝どき保育園 ●かちどき西保育園 ●晴海保育園 5園
私立認可保育所 41園	<ul style="list-style-type: none"> ●ブライツ保育園東京入船 ●TKチルドレンズファーム 湊校 ●ほけっとランド明石町保育園 ●太陽の子新川保育園 ●あい保育園新川 ●日生新川保育園ひびき 6園	<ul style="list-style-type: none"> ●にじいろ保育園小伝馬町 ●ほっぺるランド日本橋堀留町 ●さくらさくみらい人形町 ●あい保育園日本橋 ●かふう保育園日本橋 ●モニカ人形町園 ●グローバルキッズかきから園 ●あい保育園水天宮 ●学栄ナーサリー日本橋 蛸 殻町保育園 ●コピーブリススクールはこざき ●テンドーラビング保育園東 日本橋 ●日生東日本橋保育園ひびき ●ナーサリールームベリーバ アー日本橋 ●キッズハウス浜町公園 ●さくらさくみらい東日本橋 ●あい・あい保育園 日本橋 浜町園 16園	<ul style="list-style-type: none"> ●ほっぺるランド佃 ●保育所まゐむ月島駅前園 ●みちてる保育園 ●太陽の子月島保育園 ●アンジェリカ月島保育園 ●月島雲母保育園 ●さくらさくみらい月の岬 ●月島聖ルカ保育園 ●まなびの森保育園勝どき ●ほっぺるランド勝どき ●アスク勝どき保育園 ●ベネッセ勝どき保育園 ●ほっぺるランド新島橋かちどき ●勝どきえほん保育園 ●ニチイキッズさわやか勝どき6丁目保育園 ●ポピンズナーサリースクール晴海 ●さくらさくみらい晴海 ●アスク晴海3丁目保育園 ●小学館アカデミー晴海保育園 19園
区立認定こども園 2園	<ul style="list-style-type: none"> ●京橋こども園 1園	—	<ul style="list-style-type: none"> ●晴海こども園 1園
私立認定こども園 1園	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ●小学館アカデミー勝どきこども園 1園
地域型保育事業所 3園	<ul style="list-style-type: none"> ●キャリア保育園八丁堀 ●Kuukids (クーキッズ) 2園	<ul style="list-style-type: none"> ●キッズラボ水天宮前園 1園	
認証保育所 (東京都認証保育所) 12園	<ul style="list-style-type: none"> ●ポピンズナーサリースクール京橋 ●グローバルキッズ新川園 2園	<ul style="list-style-type: none"> ●アスク人形町駅前保育園 ●グローバルキッズ水天宮前園 ●ニチイキッズさわやか日本橋浜町保育園 3園	<ul style="list-style-type: none"> ●マミーズエンジェル月島保育園 ●ちゃいれっく月島駅前保育園 ●さくらさくみらい月島 ●ポピンズナーサリースクール月島 ●ピノキオ幼児舎月島園 ●ニチイキッズさわやかプラザ勝どき保育園 ●アスク晴海保育園 7園
区立幼稚園 16園 (休園中3園) ★預かり保育実施園	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和幼稚園 (休園中) ●泰明幼稚園 ●中央幼稚園 ●明石幼稚園★ ●京橋朝海幼稚園 ●明正幼稚園 6園	<ul style="list-style-type: none"> ●常盤幼稚園 (休園中) ●日本橋幼稚園 ●有馬幼稚園★ ●久松幼稚園 ●阪本幼稚園 (休園中) 5園	<ul style="list-style-type: none"> ●月島幼稚園 ●月島第一幼稚園★ ●月島第二幼稚園 ●晴海幼稚園 ●豊海幼稚園 5園



②保育所・幼稚園等入所状況

平成27年度と平成31年度の比較で保育所等入所希望者は3,713人から5,228人に増加し、保育ニーズ率も43.3%から46.3%に上昇しています。年齢別の保育ニーズ率は、3～5歳よりも1・2歳が高くなっています。

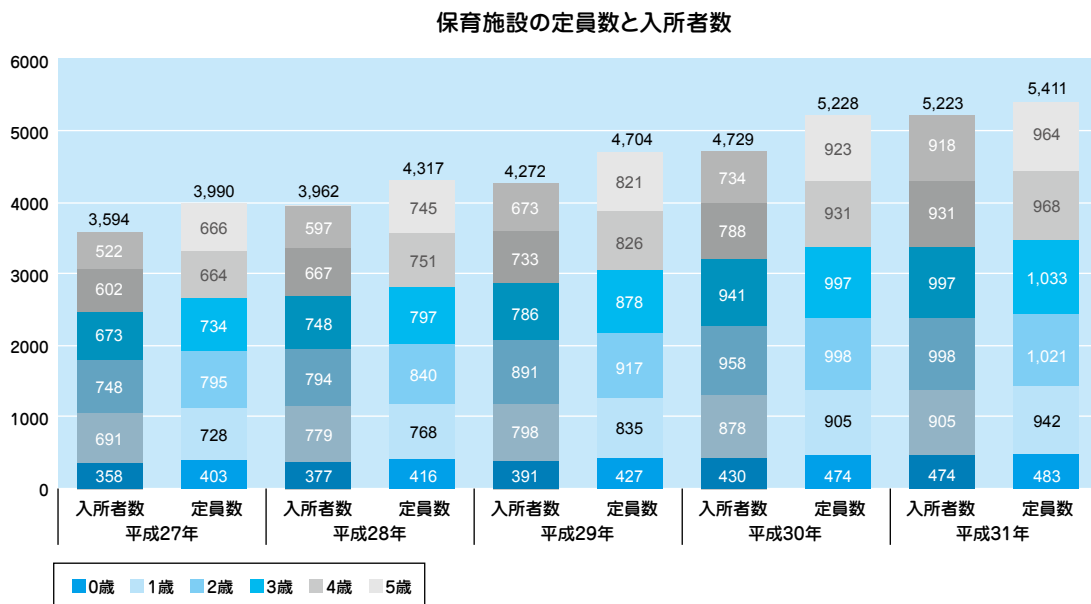
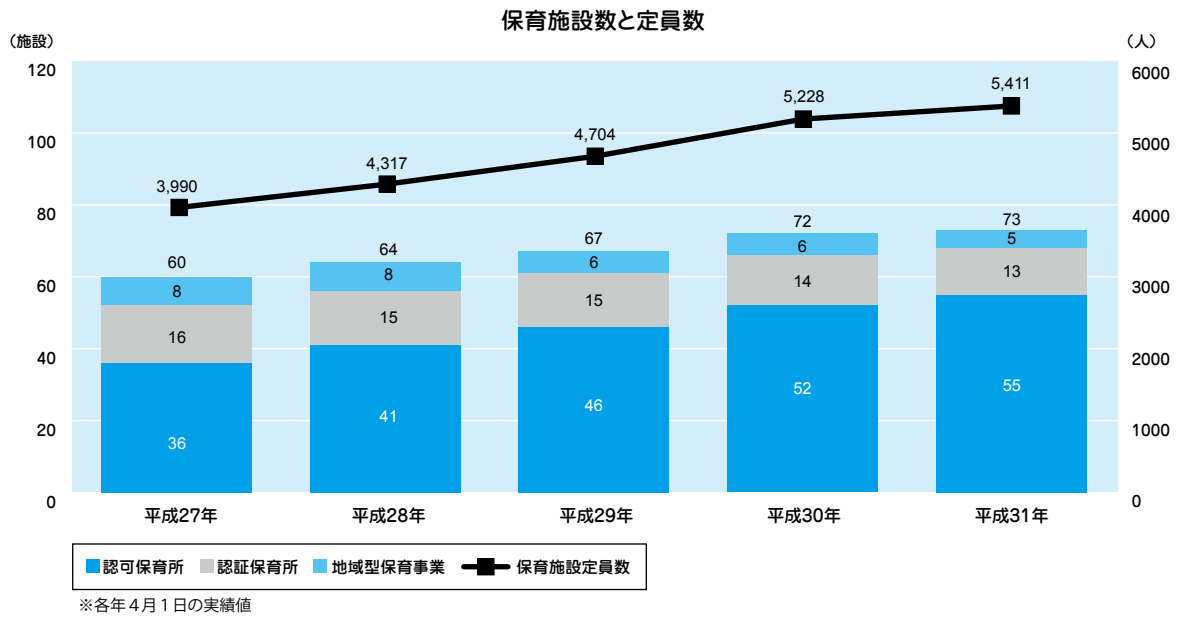
3～5歳の保育ニーズ率と幼稚園等の入園率を比較すると、保育ニーズ率の方が高くなっており、その差は、平成27年度は約5ポイント差でしたが、平成31年度には約17ポイント差まで広がっています。

平成27年度	学 齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
乳幼児人口 0歳～5歳 A		1,799人	1,568人	1,427人	1,325人	1,269人	1,184人	8,572人
			2,995人			3,778人		
保育所等入所者数 B		358人	1,439人			1,797人		3,594人
待機児童数 C		37人	82人			0人		119人
小計 D (B+C) 入所希望者数		395人	1,521人			1,797人		3,713人
保育ニーズ率 D/A		21.9%	50.8%			47.6%		43.3%
幼稚園等入園者数 E		—	—	—		1,614人		
入園率 E/A		—	—	—		42.7%		
平成28年度	学 齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
乳幼児人口 0歳～5歳 A		1,817人	1,783人	1,538人	1,424人	1,312人	1,271人	9,145人
			3,321人			4,007人		
保育所等入所者数 B		377人	1,573人			2,012人		3,962人
待機児童数 C		65人	198人			0人		263人
小計 D (B+C) 入所希望者数		442人	1,771人			2,012人		4,225人
保育ニーズ率 D/A		24.3%	53.3%			50.2%		46.2%
幼稚園等入園者数 E		—	—	—		1,603人		
入園率 E/A		—	—	—		40.0%		
平成29年度	学 齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
乳幼児人口 0歳～5歳 A		1,924人	1,925人	1,848人	1,604人	1,518人	1,379人	10,198人
			3,773人			4,501人		
保育所等入所者数 B		391人	1,689人			2,192人		4,272人
待機児童数 C		104人	220人			0人		324人
小計 D (B+C) 入所希望者数		495人	1,909人			2,192人		4,596人
保育ニーズ率 D/A		25.7%	50.6%			48.7%		45.1%
幼稚園等入園者数 E		—	—	—		1,693人		
入園率 E/A		—	—	—		37.6%		
平成30年度	学 齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
乳幼児人口 0歳～5歳 A		2,043人	1,955人	1,925人	1,839人	1,606人	1,546人	10,914人
			3,880人			4,991人		
保育所等入所者数 B		430人	1,836人			2,463人		4,729人
待機児童数 C		65人	121人			2人		188人
小計 D (B+C) 入所希望者数		495人	1,957人			2,465人		4,917人
保育ニーズ率 D/A		24.2%	50.4%			49.4%		45.1%
幼稚園等入園者数 E		—	—	—		1,811人		
入園率 E/A		—	—	—		36.3%		
平成31年度	学 齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
乳幼児人口 0歳～5歳 A		2,035人	2,013人	1,917人	1,907人	1,825人	1,605人	11,302人
			3,930人			5,337人		
保育所等入所者数 B		429人	1,885人			2,717人		5,031人
待機児童数 C		48人	149人			0人		197人
小計 D (B+C) 入所希望者数		477人	2,034人			2,717人		5,228人
保育ニーズ率 D/A		23.4%	51.8%			50.9%		46.3%
幼稚園等入園者数 E		—	—	—		1,817人		
入園率 E/A		—	—	—		34.0%		

※各年度4月1日現在

③ 保育施設数と定員数、入所者数

保育施設については、平成27年4月1日から平成31年4月1日までに認可保育所を新たに19園開設するなど、定員数を1,421人増やしており、入所者数も1,629人増えています。

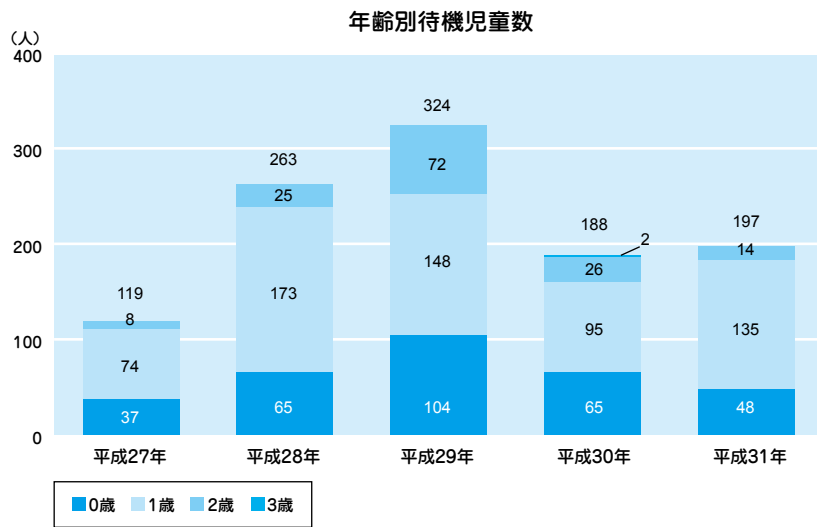


④ 待機児童の現状

待機児童数については、平成27年の119人から平成29年には324人へ増加していましたが、平成30年に188人に減少し、平成31年は197人となりました。

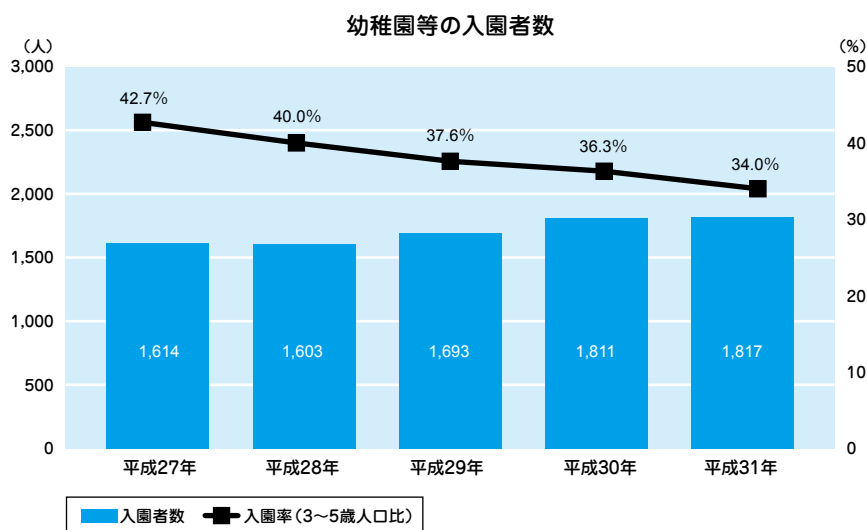
毎年、施設整備による定員拡大を行い、定員数は増加していますが、乳幼児人口の増加と保育ニーズ率の上昇も相まって待機児童の解消には至っていません。

年齢別の待機児童数をみると、毎年1歳児が最も多くなっています。また、平成27年以降、4歳、5歳の待機児童はいません。



⑤ 幼稚園等の現状

区立幼稚園については、現在13園が開園されています（3園休園中）。また、認定こども園については、区立2園、私立1園で短時間保育を行っており、入園者数は毎年増えているものの、入園率は減少傾向となっています。



(2) 地域子ども・子育て支援事業の概要

① 主な施設の概要

現在、区内には小学校児童を対象とした放課後の安全・安心な居場所として学童クラブが8児童館内で、子どもの居場所「プレディ」が12小学校内で、実施されています。また、一時預かり保育が5カ所、0～3歳までの乳幼児とその保護者を対象とした子育て交流サロン「あかちゃん天国」が7カ所、病児・病後児保育が4カ所で実施されています。

主な施設一覧

施設区分	京橋地域	日本橋地域	月島地域
学童クラブ 8館	●築地児童館 ●新川児童館 2館	●堀留町児童館 ●浜町児童館 2館	●佃児童館 ●月島児童館 ●勝どき児童館 ●晴海児童館 4館
子どもの居場所 「プレディ」 12小学校	●プレディ中央 (中央小学校内) ●プレディ明石 (明石小学校内) ●プレディ京築 (京橋築地小学校内) ●プレディ明正 (明正小学校内) 4校	●プレディ日本橋 (日本橋小学校内) ●プレディ有馬 (有馬小学校内) ●プレディ久松 (久松小学校内) 3校	●プレディ佃島 (佃島小学校内) ●プレディ月一 (月島第一小学校内) ●プレディ月二 (月島第二小学校内) ●プレディ月三 (月島第三小学校内) ●プレディ豊海 (豊海小学校内) 5校
一時預かり保育 5カ所	●京橋こども園 1カ所	●子ども家庭支援センター 日本橋分室 ●子ども家庭支援センター 十思分室 2カ所	●子ども家庭支援センター 「きらら中央」 ●晴海こども園 2カ所
子育て交流サロン 「あかちゃん天国」 7カ所	●築地児童館 ●新川児童館 2カ所	●堀留町児童館 ●浜町児童館 2カ所	●子ども家庭支援センター 「きらら中央」 ●月島児童館 ●晴海児童館 3カ所
病児・病後児保育 4カ所	●聖路加国際病院附属保育 所聖路加ナーサリー(病 児・病後児) 1カ所	●ニチキッズさわやか日本 橋浜町保育園(病後児) 1カ所	●勝どき小児クリニック (病後児) ●ゆめみらい (病児・病後児) 2カ所



②各事業の概要

子ども・子育て支援法に規定されている地域子ども・子育て支援事業のうち、現在、中央区で実施している事業の概要と事業実績を以下に示します。

1) 利用者支援に関する事業（利用者支援）

●保育所申込み等に関する相談体制

保育園長経験者等を窓口配置するほか、日本橋・月島特別出張所、子ども家庭支援センター「きらら中央」、中央区保健所、日本橋保健センターにおいて出張相談を実施し、保育所の申込みや利用に関する相談に対応しています。また、一時預かり保育等相談者の要望に見合った各種の保育メニューに関する情報提供も行っています。

●子育て交流サロン「あかちゃん天国」

親子のふれあいと交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報提供や育児相談、助言を行っています。

●妊娠・出産に関する相談窓口

保健所・保健センターにおいて母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期にわたる様々な相談を行っています。

(件)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
認可保育所入所申込受付件数(※1)	1,619	2,608	2,643	2,686
保育園入園出張相談での相談件数	992	903	848	857
「あかちゃん天国」での相談件数	1,049	1,114	1,435	1,498
「妊娠・出産に関する相談窓口」での相談件数(※2)			4,583	4,359
妊婦相談(再掲)			1,647	1,677

※1 認可保育所入所申込受付件数は、平成28年度から再申請の件数を含める。

※1 平成27年度の再申請を含む件数としては、2,376件である。

※2 平成29年度以前も保健指導(健康相談)として対応。

2) 時間外保育事業（延長保育事業）

認可保育所、認定こども園で通常保育の前後の時間に、時間外保育を実施しており、月極利用とスポット利用(1日単位)の2種類があります。さらに京橋こども園では、スポットの夜間保育も実施しています。

●延長時間：通常保育終了時から1時間 概ね午後6時30分から午後7時30分まで

●保育料：月極延長 通常保育料の概ね10%

スポット延長 1回400円

●スポット夜間保育

実施場所：京橋こども園

利用時間および保育料：午後7時30分から午後9時まで 1回1,000円

午後7時30分から午後10時まで 1回1,400円

また、認証保育所では、利用契約により午後7時以降の保育を行っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
延長保育利用定員数(人)	666	798	863	870
時間外保育事業利用者数(人/日)	210	205	282	258

認証保育所19時以降契約者数	66	58	97	48
----------------	----	----	----	----

3)-1 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)

放課後帰宅しても保護者が就労等により家庭にいない児童に対して、適切な遊びや生活の場を提供して、その健全育成を図る事業です。

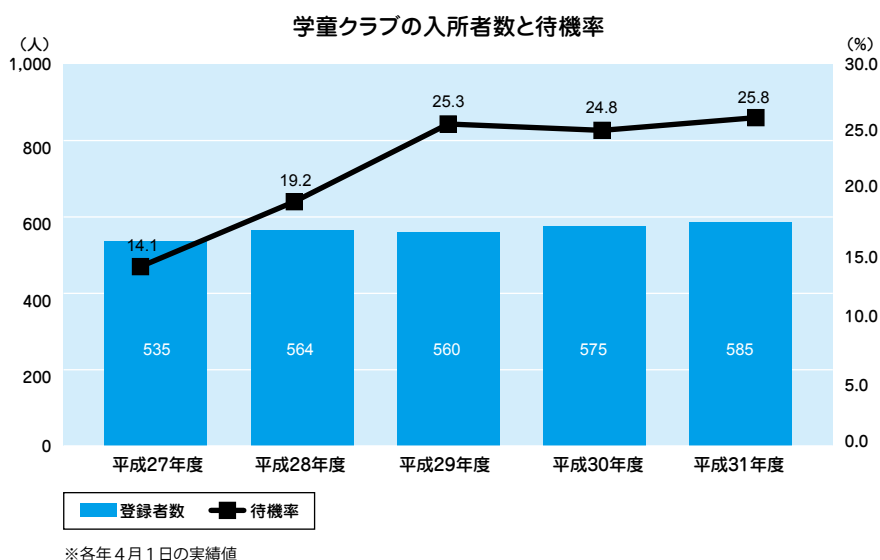
中央区では区立児童館8館で学童クラブ事業を実施しています。区内に居住し、又は区内の小学校に在籍している1年生から6年生までの児童を対象としています。

- 実施場所：築地児童館、新川児童館、堀留町児童館、浜町児童館、佃児童館、月島児童館、勝どき児童館、晴海児童館
- 利用日：月曜日から土曜日。ただし、年末年始および国民の休日等を除く。
- 利用時間：下校時から午後6時まで（土曜日は午前8時30分から午後5時まで、春・夏・冬休み等は午前8時30分から午後6時まで（土曜日は午後5時まで））
- 利用時間の延長：保護者の勤務の都合など必要と認められる場合は、平日（土曜日を除く）の午後7時30分まで利用できます。（1回400円、月上限額5,000円）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
全 体	児童館数(館)	8	8	8	8	8
	クラブ数	13	13	13	13	13
	定員数(人)	535	565	565	575	585
	入所者数(人)	535	564	560	575	585
	待機者数(人)	88	134	190	190	203
京橋地域	児童館数(館)	2	2	2	2	2
	クラブ数	3	3	3	3	3
	定員数(人)	110	120	120	120	120
	入所者数(人)	110	120	115	120	120
	待機者数(人)	24	12	15	33	36
日本橋地域	児童館数(館)	2	2	2	2	2
	クラブ数	2	2	2	2	2
	定員数(人)	85	85	85	85	85
	入所者数(人)	85	85	85	85	85
	待機者数(人)	2	25	31	28	36
月島地域	児童館数(館)	4	4	4	4	4
	クラブ数	8	8	8	8	8
	定員数(人)	340	360	360	370	380
	入所者数(人)	340	359	360	370	380
	待機者数(人)	62	97	144	129	131



就学児童を対象とした学童クラブの現状としては、待機率は平成31年度で25.8%となっています。



3) -2 放課後子供教室 (子どもの居場所「プレディ」)

子どもたちの健全育成を図るため、保護者の就労にかかわらず、放課後や土曜日などに学校施設内で児童が安全に安心して過ごせる「子どもの居場所」を確保するための事業です。

中央区では区立小学校16校のうち、12校で「プレディ」を実施しています。

- 開設校：中央、明石、京橋築地、明正、日本橋、有馬、久松、佃島、月島第一、月島第二、月島第三、豊海
- 開設日：月曜日から土曜日。ただし、年末年始および国民の休日等を除く。
- 開設時間：プレディ設置校の放課後から午後5時まで（土曜日、春・夏・冬休み等は午前8時30分から午後5時まで）ただし、保護者の就労など特別な事情がある場合は最長午後7時30分（土曜日は午後6時）まで。（午後6時以降の利用は1回400円、月上限額5,000円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
実施校数(校)	12	12	12	12	12
全児童数(人)	5,418	5,789	6,277	6,715	7,121
利用登録者数(人)	2,893	3,111	3,337	3,469	3,074
平日：年間参加延べ人数(人)	118,690	133,458	144,906	155,001	-
平日：1日平均参加人数(人)	593	667	717	771	-

4) 子育て短期支援事業（子どもショートステイ）

保護者が疾病等により子どもの養育が困難になった場合、宿泊により短期間預かる事業です。中央区では生後7日～中学校3年生の子どもを対象に、区が委託する区外2施設（乳児院、児童養護施設）または区内の協力家庭において実施しています。

●利用泊数

施設：原則6泊7日まで

協力家庭：原則2泊3日まで

●利用料 1泊2日6,000円（以降1日増えるごとに3,000円加算）

延利用日数(日)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
乳児院（二葉乳児院）	25	0	59	43
養護施設（石神井学園）	16	20	11	22
協力家庭	0	3	0	0

5) 幼稚園預かり保育

区立幼稚園は、文部科学省が定める幼稚園教育要領に基づき、午後2時までを標準的な教育時間として運営しています。さらに、子育て支援策の一環として、通院・介護など、在園児の保護者ニーズに応えるため、京橋・日本橋・月島地域の各1園において預かり保育を実施しています。

●実施園：明石幼稚園、有馬幼稚園、月島第一幼稚園

●時 間：通常の教育時間終了後、午後4時30分まで

（夏季休業日等は午前9時から午後4時30分まで）

●対 象：預かり保育実施園の在園児

各年度4月当初の人数

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録利用定員	72人（各園24人）			
登録利用者数（人）	65	60	60	71
一時利用定員	1日あたり30人から登録利用者数を除いた人数 ※3歳児は1日あたり8人から登録利用者数を除いた人数			

年間利用実績	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録者利用延べ件数（件）	5,596	6,262	5,913	7,338
一時利用延べ件数（件）	7,403	7,688	8,066	7,075
年間利用延べ件数（件）	12,999	13,950	13,979	14,413



6) -1 一時預かり保育

保護者の育児疲れや冠婚葬祭等の理由により家庭での保育が一時的に困難となった場合に、日中、保育所その他の場所において一時的に子どもを預かる事業です。

中央区では保護者の育児疲れや冠婚葬祭等の理由により一時的に子どもを預かる一時保育と、保護者の入院等の緊急の理由により家庭での保育が一時的に困難になった場合に子どもを預かる緊急保育を実施しています。また、認証保育所においても、定員の空きを利用して一時預かり保育を実施しています。

【一時保育】

- 実施場所：子ども家庭支援センター「きらら中央」、同日本橋分室、同十思分室、京橋こども園、晴海こども園
- 利用時間：午前9時から午後5時まで（1時間単位での利用）
- 対象：生後57日以上の未就学児
- 利用料：1時間800円（京橋こども園は実施日より割増料金あり）

【緊急保育】

- 実施場所：子ども家庭支援センター「きらら中央」、同日本橋分室、同十思分室、京橋こども園
- 利用期間：原則として2日以上30日以内
- 対象：生後57日目以上の未就学児
- 利用料：1日2,000円（京橋こども園は実施日より割増料金あり）

延利用人数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一時保育	16,094	17,889	18,483	19,895
緊急保育	288	276	262	264
合計	16,382	18,165	18,745	20,159

6) -2 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

保護者が就労等により帰宅が夜間になる場合に、一時的に子どもを預かる事業です。

- 実施場所：子ども家庭支援センター「きらら中央」、京橋こども園
- 利用時間：午後5時から午後10時まで
- 対象：2歳～小学校6年生（京橋こども園は未就学児まで）
- 利用料：1回2,000円

延利用人数(人)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
幼児室（未就学児）	754	1,314	1,009	837
児童室（小学生）	72	162	250	158
合計	826	1,476	1,259	995

6)-3 子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）

依頼会員と提供会員による会員組織を設置し、保育所への送迎や一時的な保育など地域において会員同士が子育てを相互に援助する事業を実施しています。

- 利用時間：原則として午前7時から午後8時まで
- 対象：生後57日以上小学校6年生以下の子どもを育てている方
- 利用料：1時間800円（早朝、夜間および休日等は1時間1,000円）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
提供会員数（人）	241	227	248	264
両方会員数（人）	169	178	176	183
依頼会員数（人）	1,693	1,883	2,008	2,146
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動件数（件）	4,584	5,409	5,656	5,399

7)乳児家庭全戸訪問事業（新生児等訪問指導）

生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業です。

中央区では生後28日以内の新生児および4カ月までの乳児を対象に、保健師および委託訪問指導員（保健師、助産師等）により訪問指導を行うとともに、母親のこころの健康状態の把握に努めています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出生数（人）	1,975	1,999	2,122	2,109
訪問対象者数（人） A	1,956	2,022	2,008	2,128
訪問件数（件） B	1,540	1,593	1,596	1,758
乳児健診等による把握数 C	414	429	412	395
訪問率 B/A	78.7%	78.8%	79.5%	82.6%
把握率 (B+C)/A	99.9%	100.0%	100.0%	101.2%

※訪問対象者数…出生後、訪問の対象となる時期（3カ月時点）に区民である者。転入・転出等の異動があるため、出生数とは乖離がある。

8)養育支援訪問事業および要保護児童対策地域協議会その他の者による要保護児童等に対する支援に資する事業

養育支援が特に必要な家庭を訪問して、保護者の育児、家事等の養育能力を向上させるための支援を行う事業です。

中央区では保健所等関係機関と連携して養育について支援が特に必要な家庭を把握し、訪問による支援（養育相談、育児・家事援助）を実施しています。

また、児童虐待の予防、早期発見や子どもの適切な保護のために、「要保護児童対策地域協議会」を運営しています。子ども家庭支援センターが調整機関となり、関係機関が円滑に連携できるよう情報管理を行うとともに、個別ケース検討会議や実務者会議などを開催しています。



		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
養育支援訪問	育児・家事援助(件)	160	37	61	78
	専門的相談支援(件)	21	2	0	0
要保護児童 対策地域 協議会	代表者会議・実務者会議・ 個別ケース検討会議 開催数(回/年)	12	16	22	26

9)地域子育て支援拠点事業（子育て交流サロン「あかちゃん天国」）

地域の身近な場所で、子育て中の親子の交流や仲間づくり、育児相談等を行う事業です。

中央区では子育て交流サロン「あかちゃん天国」として、親子のふれあいと交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報提供や育児相談、助言を行っています。子ども家庭支援センターおよび区立児童館6館で実施しています。

- 実施場所：子ども家庭支援センター「きらら中央」、築地児童館、新川児童館、堀留町児童館、浜町児童館、月島児童館、晴海児童館
- 利用時間：午前9時から午後5時まで
- 対象：0歳から3歳になった最初の3月31日までの間にある乳幼児とその保護者、妊娠中の方
- 利用料：無料

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
拠点数(カ所)	7	7	7	7
乳幼児利用人数(人) A	81,467	89,606	85,337	91,205
保護者利用人数(人) B	80,744	88,897	84,503	89,554
妊娠中の方の利用人数(人) C	234	218	251	322
利用人数(人) 計	162,445	178,721	170,091	181,081
延べ開館日数(日) D	2,418	2,412	2,412	2,412
1カ所1日あたり平均利用人数(人) (A+B+C) / D	67	74	71	75

10)病児保育事業(病児・病後児保育事業)

入院加療の必要のない病中または病気回復期の子どもを保護者が家庭で保育できない場合に、医療機関や保育所等に付設された専用スペース等において、保育士等が一時的に保育する事業です。

中央区では区が委託する医療機関または認証保育所の4施設の保育室で預かる事業を実施しています。

- 利用時間：午前9時から午後5時30分まで
- 対象：生後7カ月～小学校3年生
- 利用料：1日2,000円

延利用人数(人)		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
病児・病後児 保育室	京橋地域 聖路加ナーサリー	681	823	782	778
	月島地域 ※1 ゆめみらい	—	—	—	714
病後児 保育室	日本橋地域 ニチイキッズさわやか 日本橋浜町保育園	431	488	474	453
	月島地域 ※2 勝どき小児クリニック	804	—	261	426

※1 平成30年6月1日契約開始

※2 平成27年度までの実績は、小森小児科医院病後児保育室の実績(平成28年3月23日契約終了)

※2 平成29年度からの実績は、勝どき小児クリニック病後児保育室の実績(平成29年6月7日契約開始)

11)妊婦健康診査

母子保健法第13条で、区が必要に応じて妊産婦に対して健康診査を行うことを規定しています。中央区では母体や胎児の健康を守るために必要な妊婦健康診査を医療機関に委託して実施しています。そのうち、妊娠確定後の検査(最大14回:国基準)・超音波検査・子宮頸がん検診の費用の一部等を助成しています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
妊娠届出数(母子健康手帳交付件数)(件)		2,254	2,255	2,357	2,316
妊婦健康診査 件数(件)	1回目	2,081	2,075	2,179	2,124
	2~14回目(延べ件数)	19,989	20,327	21,116	20,910

12)実費徴収に係る補足給付を行う事業

保育所・幼稚園などに通う子どもの保護者が支払う日用品・文房具・教材費・行事への参加費用などの一部を補助することで、保護者の経済的な負担軽減を図ります。

延べ件数(件)			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
1号 認定	認定こども園 (短時間)	教科書・行事費等 (給食費以外)		1	5	0
		給食費(副食材料費)		12	0	0
	幼稚園	教科書・行事費等 (給食費以外)		449	303	325
2号 認定	保育所等	教科書・行事費等 (給食費以外)		39	232	65
3号 認定	保育所等	教科書・行事費等 (給食費以外)		6	35	8



4 子ども・子育て支援における総合的課題

課題1 教育・保育環境の整備・充実

本区では、待機児童解消を最重要課題として取り組み、第一期計画期間で認可保育所を新たに25園開設するなど1,800人の定員拡大を図ってきました。しかしながら、それを上回る乳幼児人口および保育ニーズの増加があったことから、未だ待機児童の解消には至っておらず、平成31年4月1日現在の待機児童は197人となっています。今後も、さらなる保育ニーズの増加が見込まれるため、引き続き保育施設の整備を推進していく必要があります。

また、施設の量的拡充とともに、教育・保育の質の確保・向上を図っていくことが重要です。乳幼児期は心身の発達に大きな影響を与える時期であることから、良好な保育環境において、子どもの発達段階に応じた遊びや保育、学びへの支援などが行われるよう取組を進めるとともに、子どもと直接関わる幼稚園教諭や保育士等の資質の向上を図り、教育・保育の質を高めていく必要があります。

課題2 放課後等の居場所づくり

共働き家庭の増加、核家族化や情報化の進展など子育て環境が変化しています。学齢期は社会性の発達や心身の成長が著しい時期であることから、学校教育とともに放課後等における子どもの健全な育成を図るため、学習や遊びのほか、多様な体験・交流活動のための機会を提供していく必要があります。本区では、学齢期の児童数の増加に対応するため、学童クラブと子どもの居場所「ブレディ」が連携し、放課後等の児童の安全・安心な居場所の確保に努めてきました。今後も、両事業がそれぞれの課題への対応に努めながら、放課後等の児童の安全・安心な居場所づくりを引き続き推進するとともに、児童が安心して過ごせる多様な居場所の確保や、地域の協力を得ながらさまざまな人々と触れ合いつつ成長できるような環境づくりを行っていく必要があります。

課題3 妊娠期から子育て期まで安心して過ごすための支援

本区では30代、40代の子育て期に核家族で転入してくることが多く、身近に相談できる相手がいないなど、子育てに不安を抱える家庭が多い傾向があります。また、妊娠中から産後までの時期は、体調や気持ちの変化から、身体的、精神的に不安定になりがちな時期で、子育てに不安を感じたり、自信が持てなくなったりするなど母親の孤立化等のリスクが高まる傾向がみられます。育児に対する困難感や不安感等が高い母親を早期に発見し、早期に支援していくため、母子保健分野と子育て支援分野が連携し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う仕組みづくりを進めていく必要があります。

課題4 特に配慮を必要とする子どもと家庭への支援

本区では、平成30年4月に開設した、発達障害など「育ちに支援を必要とする子ども」とその家族に対してさまざまな支援を行う療育の拠点「子ども発達支援センター ゆりのき」が中心となり、関係機関が連携して切れ目のない一貫した支援を行う仕組みづくりを行っています。今後も利用者へのきめ細かな対応を図り、「育ちに支援を必要とする子ども」の早期発見・早期支援に努めていく必要があります。

また、児童虐待については、子ども家庭支援センターが中心となり、関係機関とのネットワーク強化を図りながら対応するとともに、児童相談所の設置を見据えながら、子ども家庭支援センターの体制強化を図っていく必要があります。そのほか、ひとり親家庭に対する自立に向けた支援、子どもの貧困対策など、特に配慮を必要とする子どもと家庭への支援を推進していく必要があります。

課題5 地域・社会全体による子育ての推進

親子で過ごす時間は、子どもの成長に大切であるとともに、親にとっても喜びであることから、子どもと過ごす時間を増やせるような働き方や、両親ともに子育てに向き合う時間を作り出せるよう、ワーク・ライフ・バランスの推進など、子どもを産み育てやすい環境づくりを進めていく必要があります。また、家庭はすべての教育の出発点であり、重要な役割を担っていることから、各家庭の自主性を尊重しながら、家庭・地域・学校・関係機関が連携し、親が子どもと真剣に向き合い子どもを健やかに育む「親力」を高めていく必要があります。

さらには、青少年がさまざまな地域活動や社会活動に興味を持てるようにするとともに、その参加機会を増やしていくことが重要です。今後も引き続き、地域・社会全体で子どもと子育て家庭を支援する取組を推進していく必要があります。



保育所での絵本読み聞かせ

